

### 令和 元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山下町地区多世代交流実践事業
事業主体 (連絡先)	株式会社 和が家 岡谷市湖畔4-1-27
事業区分	④安全・安心な地域通票に関する事業 ⑧その他の地域の元気を生み出す地域作りに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,500,000 円 (うち支援金: 3,400,000 円)

#### 事業内容

- ① 地域作りワークショップの開催 (住民と和が家に来られているお年寄り、スタッフを含めた地域作りワークショップの開催)
- ② コミュニティガーデン「あんとガーデン」の完成 (車いすでの移動がスムーズに行えるようにスロープ設置、子どもたちの遊び場となる人工芝、日除け設備、地域住民と共につくる畑の整備等)
- ③ 毎週水曜日にコミュニティハウスの開放と駄菓子屋の開店 (開放日 39日 405名利用)
- ④ 子どもカフェ (あんとの食卓) の開催 (5月・8月・1月・3月※コロナウイルス感染拡大の為中止)
- ⑤ 住民と&HOUSE 共同のイベントの開催 2回 (8月流しそうめん大会・11月完成お披露目会)



【あんとガーデン完成お披露目会】

#### 【目標・ねらい】

- ① 住民参加
- ② コミュニティガーデンの完成
- ③ 多世代地域交流
- ④ 多世代の居場所づくり

#### 事業効果

- ① 継続して地域作りワークショップを行うおことによりメンバー以外の方からも意見を頂けるようになってきた。
- ② あんとガーデンはこれまでの運営運用の中で地域の方々から頂いた意見を取り入れ完成した。11月にお披露目会の実施。近くにある保育園の子どもたちが散歩の途中で立ち寄ってくれる機会が増え少しずつ地域の拠点となってきている。
- ③④⑤ 毎週水曜日の開放にあわせ、駄菓子屋を開店させたことによりお年寄りの役割ができ子どもたちや地域の方々足を運んでくれるようになった。あんと食卓ではメンバー・和が家のお年寄り・地域住民が一体となりそれぞれが役割をもち多世代交流が行われた。

#### ※自己評価【A】

- ・ガーデン完成により以前より自然に足を運んでくれる方が増えた。
- ・住民の意見を取り入れることで他人ごとではなく自分ごととして場に参加してくれるようになった。

#### 今後の取り組み

- ① 3期にわたり&HOUSE は多世代地域交流を大きな目的として取り組んできた。今後も継続して地域の方々を含めたワークショップを行い、自分たちだけでやろうとせずに常に仲間を巻き込む意識をもつ。
- ② あんとガーデンを開放的で誰がきてもいい OPEN な場所にするために楽しいイベントや多世代で楽しめる活動やアイデアを持ち込み誰もがしやすい居場所にしていく
- ③ できないこと、困っていることを外に開示し常に未完成であり続けることで、できる範囲で関わってくれるひとを継続的に繋げていきたい。
- ④ 子ども食堂 (あんと食卓) は定期開催の他、今後は開催回数の増加を検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)